13. アンケート集計結果

第 2 回 IT を活用した教育センターワークショップの評価

＊ご協力をありがとうございました。＊

① 本日のワークショップの流れにスムーズに入り込めましたか？

いいえ　　はい

1　2　3　4　5



平均 4.0

② 本日各セッションの討議にはどの程度参加されましたか？

最低　　最高

1　2　3　4　5

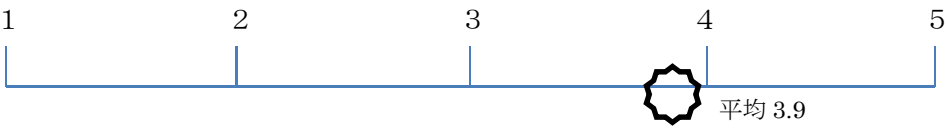


平均 3.6

③ 文科省の本事業の内容をどの程度理解できたでしょうか？

できない　　できた

1　2　3　4　5

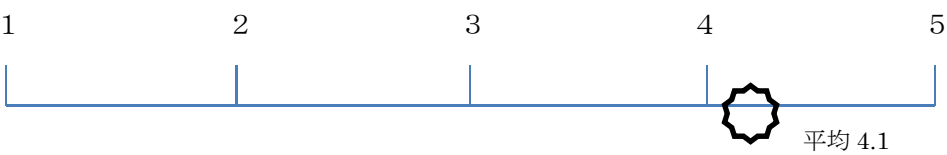


平均 3.9

④ IT を活用した歯学教育への関心は高まりましたか？

いいえ　　はい

1　2　3　4　5

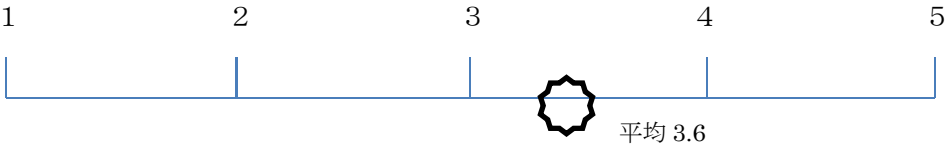


平均 4.1

⑤ 作成した教材（運用プラン）は満足がいくものでしたか？

いいえ　　はい

1　2　3　4　5



平均 3.6

第 2 回ワークショップアンケート（2013.3.7）

⑥　その他ご意見･ご感想（何でもご自由に）

グループ 1

1. 歯学部の 3 年生にどこまで指導するのかポイントがよくわからなかった。
2. 本来の意味での GIO の理解が不充分であった。
3. 他グループとの調和や繋がりをタスクフォースの方でやらないと、最後の方で方向性が違うと突然いわれても非常に困る。
4. 本日渡さんに資料を事前にいただくことができていたら、なおよかったと思う。
5. 医学部と共同で行なわれる実習の内容について知ることができれば教材のあり方も少し変わってくるかと思いました。
6. 関係者の皆様、おつかれさまです。三年生の実習内容を踏まえた上で、それにうまく対応することに焦点を絞るのも方法ではないでしょうか？

グループ 2

7. グループ毎の連携を高め、学生が分かりやすくなるような資料作成が必要。
8. 高齢者、基礎疾患、口腔乾燥、チーム医療など keywords が多く、まとまるのが難しいと感じた。
9. 良いメンバーです。
10. 全体的な方向性をまとめる事が大変難しく感じました。
11. ビデオの作成が重要なポイントとなるが、それがまだ完成していないため全体のイメージがまだできていない。今後もう少し詰めるための時間が必要かと思われる。

グループ 3

12. 学部長が言ったように全体像が少しボヤッとしたものだった気がします。修正して行きたいです。書記が大変で発言が難しかった。
13. 新しいカリキュラムの作業として今回のプランニングは素晴らしいと思います。大学の教育に、ジェネラル。プラクティシナーである先生達に協力頂く事もきわめて重要で大切なことだと思います。できれば、プランニングにおいて中枢の先生達の事前のすり合わせがもう少しなされていれば、外部の先生達の力が活きるように思います。
14. グループ 3 での検討でしたが、前回のワークショップから今回にかけて（向井先生のご助力で）かなり具体的な資料ができあがっていたのでますますスムーズに進行することができて良かったと思います。
15. 新しい教育の取組に参加出来たことが良かったと思います。

16. 各グループの内容を総合して一連の流れを作るのが困難であった。一貫した philosophy を全員が把握してから作業に入るべき。
17. 第一回を欠席しているため私自身のポートフォリオの理解が不充分な感じです。午前中の授業ではグループ 3 とグループ 4 が担当する部分が混在し、ワークショップをスムーズに進めることが難しかった。今回各回の授業の内容をブラッシュアップしましたが全回の授業の流れを十分に検討しておくことが大切と感じました。
18. 口腔乾燥症についてテーマを広げて全身疾患と口腔症状とした方が良いのでは。心疾患について麻酔科の授業の様な気がするが。
19. 超高齢に対応できるよう将来の歯科界を担う学生がレベルアップできる教材となるよう願っております。

グループ 4

20. 事業内容が社会の変化に対応した教育内容の変更なのか、それとも OA 機器の発達を取り込んだ新プログラムの開発なのか少々判然としない気がいたします。いづれにしましても、かほど大人数の討論が本当に必要なのか、私ごとき者が参加して意義があったのか実は予備校やデジタル関連の会社とで少数精鋭の企画にした方がよかったのではあるまいかと感じました。
21. お疲れ様でした。
22. 各班のプロダクトのつながりが理解しにくかったです。
23. 学生の目線に立って考えることは大変大事なことですが、具体的にどのレベルにするかというと難しいと感じました。
24. 時間に余裕がほしいです。

グループ事務・IT

25. 具体的教材作成に今後踏み込んで行くと思うので、がんばりたいと思います。
26. e-learning 環境の老朽化もきているので、次年度に一度更新できればと思います。